



嵯峨嵐山文華館  
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture



# 橋本関雪 生誕140周年 KANSETSU

入神の技・非凡の画

2023/4/19 | WED | → 2023/7/3 | MON |

## 嵐山会場 II

OPEN | 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
CLOSE | 5月30日(火)のみ休館

一般・大学生:1,000(900)円、  
高校生:600(500)円、  
小中学生:400(350)円、  
障がい者と介添人1名まで:  
各600(500)円

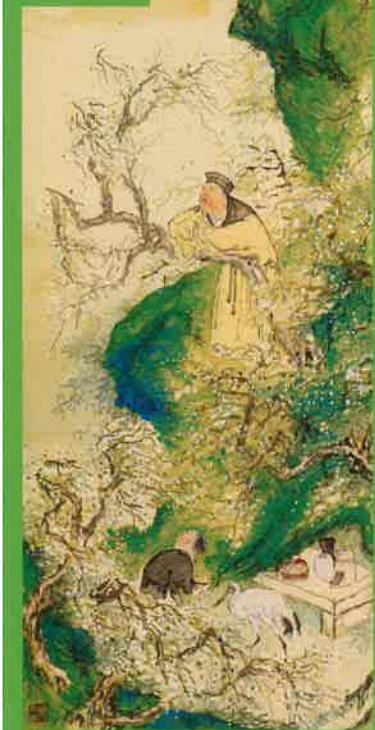
料 金 ※幼児無料 ※( )内は20名以上の団体料金  
※常設展もご覧いただけます  
※東山会場(白沙村荘 橋本関雪記念館)の  
入館券をご提示で団体料金適用

<福田美術館との両館共通券>  
一般・大学生:2,300円、  
高校生:1,300円、小中学生:850円、  
障がい者と介添人1名まで:各1,300円

主 催 白沙村荘 橋本関雪記念館  
福田美術館・嵯峨嵐山文華館  
京都市新聞  
後 援 京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所



嵐山会場Ⅰ  
福田美術館



福田美術館所蔵「梅花散花図」(部分)



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「秋長老猿」(部分)



福田美術館所蔵「猿猿」(部分)



東京国立近代美術館所蔵「防室障」



福田美術館所蔵「俊寛」(部分)



福田美術館所蔵「猿猿」(部分)

# 橋本関雪 生誕140周年

## KANSETSU

入神の技・非凡の画  
前期 4/19<sub>日</sub> - 5/29<sub>日</sub> 後期 5/31<sub>日</sub> - 7/3<sub>日</sub>

本展は、関雪の生誕140年を記念し、白沙村荘 橋本関雪記念館・福田美術館・嵯峨嵐山文華館で開催される、特別な機会です。

嵐山で初の関雪展。京の東と西で一挙公開。

橋本関雪(1883-1945)は、

近世の伝統を受け継ぎながら、近代性を取り入れて独自の文雅で壮大な芸術世界を完成させた巨匠です。

生誕140年を記念し、

福田美術館・嵯峨嵐山文華館で

開催される、特別な機会です。



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「人物山水十二巻 采林猿文図」(部分)



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「人物山水十二巻 採林猿文図」(部分)



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「月下錦帆」(部分)



京都市学校歴史博物館所蔵「波にかもめ」(部分)



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「蜀池契月橋本関雪合作扇面貼交屏風」(左隻・右隻・部分)



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「百鬼夜行図巻」(部分)

嵯峨嵐山会場Ⅱ  
嵐山文華館



白沙村荘 橋本関雪記念館所蔵「闘」(左隻・部分)

神戸に生まれた関雪は、儒者の父、海関の薫陶を受けて漢籍詩文を学び、同時に絵を好んで画筆にも親しみました。四糸派の画法を修めた関達な筆さばきと、中国の古典への深い理解と愛着に裏打ちされた彼の芸術は早熟な才能を示し、若くして画名を知られました。さらに、数十回に及んだ中国・欧州への旅の経験、旺盛な蒐集の意欲なども自らの力に変えて前進を続けた関雪は、和漢の故事に材を取った歴史画から、詩書画一致をめざした山水や風景、生彩にあふれた花鳥画、鮮麗な美人画など、他の多くの画家のように1つのジャンルには留まらず、縦横に筆を揮って傑作を世に送り、戦前の京都画壇を代表する存在となったのです。本展は関雪が生涯で最も長い時間を過ごした京都で、その歩みを、到達点を、《木蘭》(白沙村荘 橋本関雪記念館)をはじめとする、数々の名画で追いながら、自邸・白沙村荘での展覧会と同時開催でご紹介いたします。

一部の作品は、展示期間に変動があります。予めご了承くださいませ。

**福田美術館**  
FUKUDA ART MUSEUM  
SAGA ARASHIYAMA  
〒616 8385  
京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16  
TEL:075(863)0606  
JR山陰本線「嵯峨嵐山駅」下車、徒歩12分  
阪急嵐山線「嵐山駅」下車、徒歩11分  
京福電鉄(嵐電)「嵐山駅」下車、徒歩4分

**嵯峨嵐山文華館**  
SAGA ARASHIYAMA MUSEUM OF ARTS AND CULTURE  
〒616 8385  
京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11  
TEL:075(882)1111  
JR山陰本線「嵯峨嵐山駅」下車、徒歩14分  
阪急嵐山線「嵐山駅」下車、徒歩13分  
京福電鉄(嵐電)「嵐山駅」下車、徒歩6分

